



やた はな組



2014年2月14日(金)

～ 「ホワイトボードケース会議」のすすめ方 ～



矢田圏域ケアマネ勉強会「やた はな組」を矢田中ひまわり会館にて開催しました。当日は大阪には珍しく、前夜から雪が降り積もり、屋根も道も真

っ白になりました。

今回の講師は、「ホワイトボード・ミーティング(WBS)高齢者支援チーム」から、現任のケアマネでもある神田先生、船越先生を講師にお招きし講義と実技の研修を受けました。



最初に講師から、会議の概要やファシリテーションの役割について解説され、次に講師がファシリテーターとして、デモ事例を使って本人、家族および関係者のアセスメントをホワイトボードに書きこんでいき、支援スケールにそって



参加者と話し合いながら、本人や関係者の思いや環境などを整理し、アセスメントから課題の共有化を学びました。

実技は、ペアワークで、一方がご自分のケースのことを伝え、一方がファシリテーターとなり白紙をホワイトボードに見立てて、アセスメントと課題抽出に取り組みまし

た。みなさん初めての作業でしたが、講師に質問しながら行いました。ワークを終えてみると書き出すことで、本人を中心とした問題の整理や気づきができたと、もっと勉強してみたいと好評でした。



書きこんでいき、支援スケールにそって



みなさんの感想

書き出すことで、新たな発見や本人の良さの見直し等 新鮮な見方ができました。

一人で探るのではなく、何人かの人と探る事が大切と思いました。

今後活用していき意義のある会議をしていきたい。etc.

ホワイトボード・ミーティング(WBM)は参加者の力が活かされる効率的、効果的な会議の進め方の1つです。2003年にちょんせいこ(株式会社ひとまち)が開発し、多様な地域や領域で取り組まれています。【参考図書】「元気になる会議～ホワイトボード・ミーティングのすすめ方」(解放出版社) <http://wbmf.info>

「ホワイトボード・ミーティング(WBM)高齢者支援チーム」の神田先生、船越先生、ご協力いただいた矢田中地域福祉コーディネーターさん、参加いただいたケアマネのみなさん ありがとうございます。

次回「第9回 はな組」にも、みなさまの参加をお待ちしています。

「やた はな組」は、参加される皆さんの意見を反映させ、自由につくっていきたいと思っています。皆さんの要望や意見もお聞かせください!!

矢田地域包括支援センター

電話 06-6694-5552

E-mail hokatu@karan.or.jp